

- ・ センター長就任のご挨拶
- ・ 教員着任のご挨拶
- ・ 動物看護師の国家資格化
- ・ 診療科紹介 - 腎泌尿器科 -
- ・ 東大VMC基金活動報告
- ・ 退職のご挨拶
- ・ 臨床試験のご案内



お知らせ

センター長就任のご挨拶



センター長/博士(獣医学)
獣医動物行動学研究室教授(兼任)

武内 ゆかり

2023年4月1日より動物医療センター長に就任しました。どうぞよろしくお願ひします。

東京大学大学院農学生命科学研究科附属動物医療センターの前身である家畜病院は1880年に開設され、日本政府に要請されてドイツから派遣されたヤンソン先生 (Dr. Johannes Ludwig Janson) の指導のもと獣医臨床教育の場として活動を開始しました。以来140年余に渡って、教育病院としての役割を果たして参りました。動物医療センターは、

- 1) 的確な診療と十分なコミュニケーションにより飼主の皆様に満足していただける獣医療の提供、
- 2) 臨床獣医学に関する最新の知見を取り入れた診療水準および治療の向上に役立つ研究の推進、
- 3) 優れた技能と豊かな人間性を兼ね備えた次世代を担う獣医師の育成、を使命としてスタッフ一同、日々精進を重ねております。

前西村センター長のご挨拶にもありましたが (VMC News Letter vol.3)、獣医学が発展するなかで大学病院が高度な獣医療を適切に提供するためには、広い専門診療科を備えなければなりません。

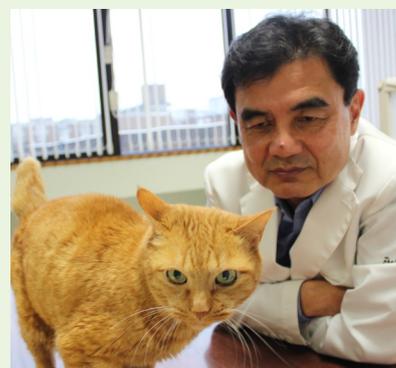
現在動物医療センターには、内科系診療科 (総合内科、呼吸器内科、消化器科、腎泌尿器科、内分泌科、神経内科、血液・免疫科、腫瘍科、皮膚科、循環器科)、外科診療科 (軟部組織外科、整形外科、神経外科)、眼科、エキゾチック動物診療科、行動診療科、産業動物診療科が存在し、これらを画像診断部、病理・遺伝子診断部、麻酔・集中治療部、薬剤部、看護部が支えています。いまだ十分な数とはいえませんが、動物医療センターでは、これらの診療科や部が協同することで上記の使命を果たすべく、努力して参ります。私自身も長年担当している行動診療科で培ったコミュニケーション力を活かし、スタッフが働きやすい環境づくりに貢献できるよう尽力いたします。

これまで新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症拡大の影響を受け、多くの方々にご迷惑をおかけしまして申し訳ありませんでした。動物医療センターでは、今年度より徐々に診療規模を戻していきたいと思っております。今後ともご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

退任のご挨拶

2023年3月末をもちまして、3年間の勤めを終え動物医療センター長を退任いたしました。皆様方には様々な方面でご支援をいただき感謝しております。コロナ禍がやっと落ち着いてきたところでの退任はやや残念なところもありますが、新センター長のもと若いスタッフが一丸となって、新しい病院づくりに取り組んでくれるものと大いに期待しております。人間の歴史は感染症の歴史ともいわれます。もちろん動物の歴史もまたしかり。今回の感染症蔓延も長い歴史から見ると、一瞬の出来事かもしれません。しかし今を生きる我々にとっては、大きな試練であったと思います。

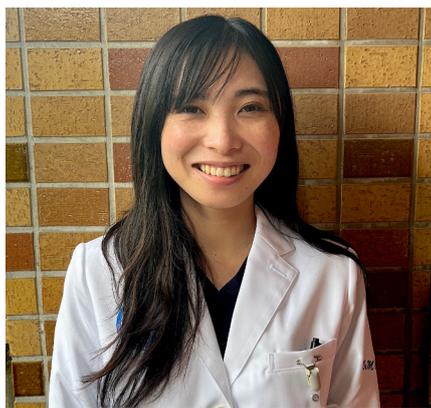
一方で、今回のことは様々な面で価値観や様々な社会的ルールの変換を迫るものでもありました。これまで通りにやればよいということでは済まないことがたくさん生じ、うまく対応できなければ置いて行かれる、そんな状況を数多く経験しました。我々が動物病院で働くということも、もう一度原点に戻りその目的を明確にし、やり方も再構築していかなければなりません。これからも皆様方のご支援とご協力をお願いする次第です。3年間ありがとうございました。



前センター長 西村 亮平



お知らせ 教員着任のご挨拶



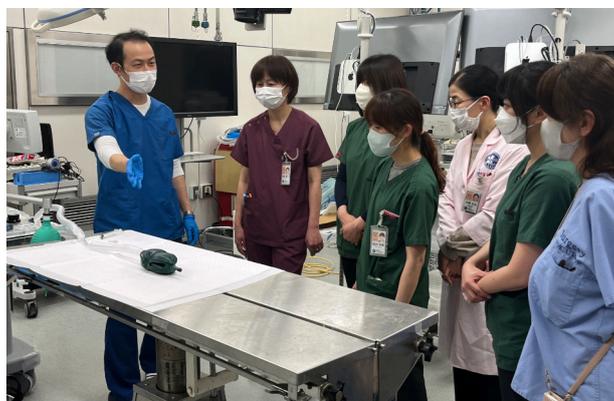
おがわ みづき 腎泌尿器科 特任研究員 小川 実月

本年2月より特任研究員として着任しました小川実月と申します。私は日本獣医生命科学大学にて循環器学の研究で博士号を取得し、診療においては循環器科に加え、腎泌尿器科に従事し研鑽を積んで参りました。日々刷新されていく獣医内科学において、より広い視野を持って診療に取り組むべく、今までおりました日獣大を離れ、当センターで診療させていただくこととなりました。このような機会に恵まれたこと、大変ありがたく感じております。

まだまだ未熟ではございますが、日々精進し、飼い主様との対話を重ね、そしてかかりつけの先生方と連携をとりながら、飼い主様と動物たちにとって最善の医療を提示できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

お知らせ 愛玩動物看護師が誕生しました

2023年2月に、第1回となる愛玩動物看護師国家試験が実施されました。愛玩動物看護師は、2022年5月に施行された愛玩動物看護師法で新たに誕生した国家資格です。今回の法整備により、愛玩動物看護師は獣医師の指示のもとで採血や投薬、マイクロチップ挿入、カテーテル導尿などの医療行為を行うことが可能となりました。当センターにおいても、ほとんどの看護師が資格を取得し、気持ちを新たに業務に取り組んでいます。また、業務内容の幅の広がりに対応するため院内講習を実施し、スタッフ全体で適切な知識の共有と高度な技術の習得を目指しています。今後も当センターでは獣医師と看護師が一丸となって、動物たちと飼い主様に寄り添ったより良い獣医療を提供できるよう努めてまいります。



上：麻酔科の教員による麻酔回路に関する院内講習の様子。

診療科紹介：腎泌尿器科

腎泌尿器科では、腎臓・尿管といった上部泌尿器、そして膀胱・尿道・前立腺といった下部泌尿器の疾患を対象に診療しております。腎数値の上昇、つまり高窒素血症の背景には腎前性、腎性、腎後性といった様々な要因があり、特に慢性腎臓病はその主たる原因となります。しかし、慢性腎臓病に至る経緯は症例によって異なるため、そのような背景および経緯を考慮に入れ、症例毎に治療計画を策定する必要があると考えています。当科ではご家族との綿密な相談の上で検査内容を決定し、血液検査、尿検査、腹部超音波検査といった一般的な検査に加えて、血液ガス検査や腎機能検査などを実施することで、患者様それぞれに適した治療をご提案できるよう努めております。

また、尿管結石や尿管炎による閉塞性腎症は、内科療法と併せて外科療法が必要となる場合があります。このような疾患では、軟部組織外科や画像診断部、麻酔・集中治療部と連携して、外科的介入の是非について迅速に判断するよう心がけています。その他、下部泌尿器疾患に対する尿路造影検査を含めた精査、ならびに移行上皮癌や前立腺癌といった腫瘍性疾患に対する新薬の導入など、最新の研究結果に基づいた泌尿器疾患の診断および治療にも積極的に取り組んでおります。

腎泌尿器疾患の多くは不可逆的に進行しますが、悪化要因を追究することで進行速度を遅らせることができる場合もあります。腎泌尿器疾患の診断や治療においてお困りのことがございましたら、ぜひ当科にご紹介頂ければ幸いです。



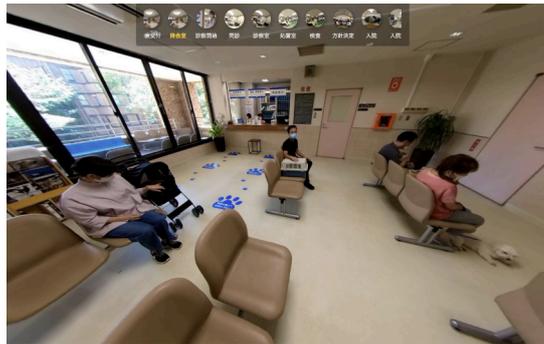


お知らせ 東大VMC基金の活動報告



東京大学附属動物医療センター未来基金（東大VMC基金）は、皆様からの温かいご支援により、累計寄付金額が61,255,638円（2023年5月10日現在）に到達しました。多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

東大VMC基金では、ご支援額の累積に応じた返礼特典をご用意しています。30万円以上のご寄付の特典の一つである動物医療センター見学会へのご招待がCOVID-19の感染拡大により実施困難になった状況を受け、東京大学バーチャル・リアリティ教育研究センターとの共同開発により院内のバーチャルツアーを体験していただくためのアプリケーションを作成しました。ツアーの中では、360度視野のGoogleストリートビューのような形式で院内を見学したり、診療の流れや様々な検査の様子などの動画を見たりすることができます。スタッフ一同からの御礼として、お受け取りいただいた皆様にお楽しみいただけましたら幸いです。本基金の詳細については、東京大学附属動物医療センター未来基金のホームページ（右上のQRコード参照）をご覧ください。これからも皆様からのご支援を心よりお待ち申し上げます。



上：院内バーチャルツアーの様子。画面上の操作で院内見学や動画の閲覧をすることができます。

退職のご挨拶

麻酔・集中治療部の若槻先生が退職いたしました。今後の益々のご活躍を、スタッフ一同祈念しております。

2023年2月末をもちまして当センターを退職いたしました。外科系研修医を経て麻酔・集中治療部（ICU）の教員として勤務させていただいたこの7年間は、長いようで振り返ってみるとあっという間でした。VMCで仕事をする中で、決して驕らず真摯に動物に向き合い努力する先生方、尊敬する人達と出逢えたことは何より得難いものです。これまでに一緒に仕事をしてきたスタッフの皆様、患者様をご紹介くださった先生方、大事な家族を預けてくださった飼い主様、そして関わってきた全ての動物たちに心より感謝しております。

VMCに関わる全ての動物達とそのご家族が救われますように、そして、VMCが彼らに対して誠実に・真摯に動物達の命に向き合う場所であり、彼らに恥じない獣医療を提供できる場所であることを心から願っております。

前 VMC 麻酔・集中治療部 特任研究員 若槻 あゆみ



Information

臨床試験のご案内



東大VMCでは現在以下の臨床試験プログラムを実施しています。当該症例に遭遇した場合は当センターへご紹介をお願いします。詳細は右上のQRコードを参照ください。

犬の膀胱癌に対するIDO1阻害剤の臨床試験

対象

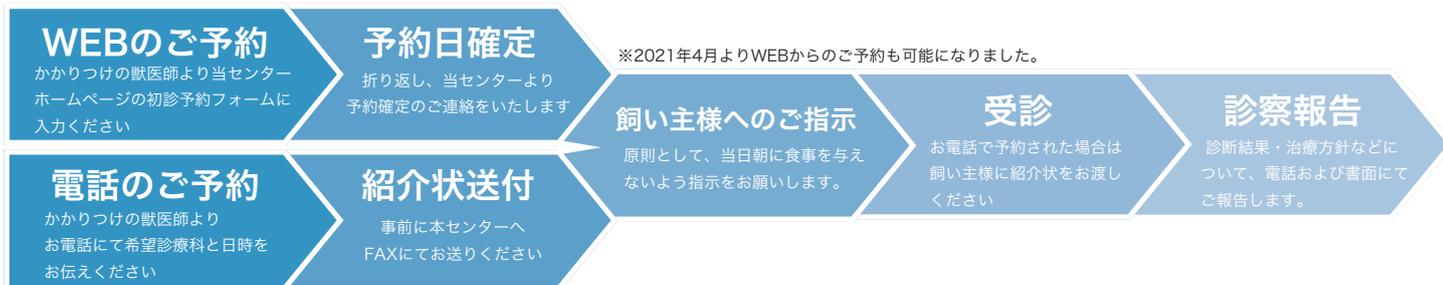
- 犬膀胱癌に罹患した症例（疑い症例の受診も可能です）
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（試験開始後1, 3, 5週目の通院が必要になります。）
- 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

犬の固形腫瘍に対する高分子型抗癌剤の臨床試験

対象

- 外科手術による根治的切除不能あるいは転移病変を有する悪性固形腫瘍のうち、放射線や抗癌剤などその他の有効な治療法が無い症例（脳腫瘍、末梢神経鞘腫、扁平上皮癌、線維肉腫、悪性黒色腫、甲状腺癌、肺癌、肝臓癌、膵臓癌、胃癌、腸腺癌、消化管間質腫瘍、副腎腫瘍、腎癌、尿路上皮癌、肛門嚢腺癌、乳癌、骨肉腫、血管肉腫、肥満細胞腫、組織球性肉腫などのうち、標準治療の有効性が期待されない、または耐性となった症例）
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（治療期間中は1~2週に1度の頻度での通院が必要になります。）
- 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

初診予約～診察の流れ



初診外来表

診療科	初診 受付時間	月	火	水	木	金
内科系	9:00-11:00	△	○	○	△	○
外科系	9:00-10:00	○	手術	手術	○	手術
眼科	9:00-11:00	○	○	手術		○
エキゾチック	9:00-10:00	○		手術		
行動	午前・午後				○	

△：要相談

予約専用（代表） ☎ 03-5841-8004（平日 11:00-16:00）
 其他のお問合せ ☎ 03-5841-5420（平日 9:00-17:00）

行動診療科はFAXにて予約：03-5841-8190
 （詳細は <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/koudou/j-clinic1.html>）

アクセス



- ★電車でお越しの場合：
 - ・メトロ南北線 東大前駅 出口1から徒歩3分
 - ・メトロ千代田線 根津駅 出口1から徒歩13分（根津駅からは登り坂です）
- ★お車でお越しの場合：
 - ・農学部正門からお入りください。病院の前までお入りいただけます。

ご予約時の注意点（詳細は右下のQRコードをご参照ください）

当センターでは病気の確定診断や、手術などを含む高度医療に主力をおいています。そのため、一般的な治療や診断後・安定後の治療はできる限り紹介医にお願いすることを原則としておりますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 外科の初診は診察のご予約になります。手術のご予約ではありませんのでご了承ください。また、麻酔が必要な検査や処置は初診当日に行えない場合があります。
- ・ 当センターの放射線治療装置はオルソボルテージのみとなっています。当センターの放射線装置での対応が難しい場合は他の診療施設を紹介させていただく場合があります。オルソボルテージ装置では適応外の可能性がある場合は他の診療施設への紹介をご検討ください。
- ・ 眼科では設備の都合上、白内障手術は現在対応できません。
- ・ 診断あるいは治療方針が確定しましたら、原則として紹介病院にお引き継ぎいただきます。
- ・ ご紹介後、当院の休診日（土日祝日など）で対応できない場合は、貴院でのご対応をお願いいたします。（診察日であっても緊急手術などの緊急対応には原則として応じることができませんのでご了承ください）
- ・ 当センターはエキゾチック動物診療科を設置しておりますが、動物種によってはお受けできない場合がありますのでご了承ください。

また、以下の点を飼い主様へ説明をお願いします。

- ・ **来院当日の朝は絶食の上でお連れください（飲水は可）**
（糖尿病、幼齢、エキゾチック動物などで絶食が困難と思われる場合は当センターにご確認ください）
- ・ 当日の検査は、動物の状態や当センター全体の検査状況に応じて行います。初めて来院される際に、必ずしも全ての検査が行なえるとは限りませんのでご了承ください。
- ・ 緊急性がある場合をのぞき、予約当日の外科手術は行なっていません。



詳細はこちら▷

休診のお知らせなどの情報更新は随時HPで公開しております。HPもぜひご覧ください。

<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

Facebookもチェック



東京大学大学院農学生命科学研究科
 附属動物医療センター
 Veterinary Medical Center, The University of Tokyo

〔住所〕 〒113-8675 東京都文京区弥生1-1-1
 〔TEL〕 予約専用（代表）：03-5841-8004【受付時間】平日11:00～16:00
 其他のお問合せ：03-5841-5420【受付時間】平日 9:00～16:00

〔URL〕 <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

編集・発行

編集：東京大学附属動物医療センター 広報委員会

発行日：2023年5月15日 発行所：東京大学附属動物医療センター